

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

見上げれば、満天の星―星取県。

## ▼第2回おしどり学園



▲星取県としての活動を紹介します秋山さん

6月15日、第2回おしどり学園を開きました。

今回は、「夜空を見上げよう」星取県としての活動を通して」と題し、鳥取県星空環境推進室の秋山賢治さんが講演を行いました。

そもそも、鳥取県が「星取県」と名乗ることになった理由は何だったのでしょうか。秋山さんは、「鳥取はきれいな大気と夜空への人口光の放出が少なく、暗い夜空で星がきれいに見える。県内のどの市町村でも「天の川」が見えるのは鳥取県ならではの」と、「日本一」ともいえる星空の見えやすさをあげます。

実際に、星空を楽しめるスポットとして、鳥取砂丘や東郷湖畔、大山などの夜空をスライドショーで紹介。そして、そうした貴重な星空環境を保全し、次世代に引き継いでいくため、全国初となる星空の保全に特化した「鳥取県星空保全条例」が制定されたことを説明しました。

鳥取県の美しい星空を守るための取り組みを聞き、学園生にとつて、星空から美しい郷土を見つめ直す良い機会になったようです。

## 第4回おしどり学園のご案内

**日時** 8月17日(金) 午前9時30分  
**場所** 町公民館 講堂  
**内容** 講演 「まんがで地域を元気に！  
～まんが王国とっとり事業の取り組み～」  
講師 鳥取県まんが王国官房  
野村芳幸さん

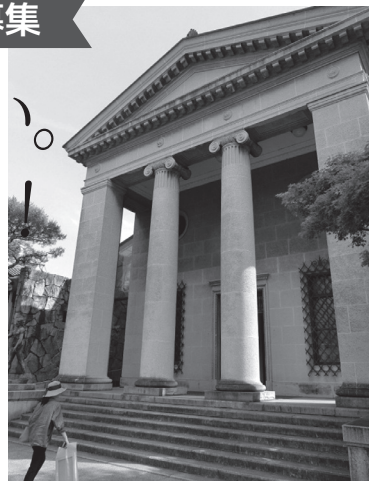
※講演はどなたでも参加できます。

## おしどり学園町外研修 参加者募集

### 知識は年を取らない。 生涯学習を楽しもう！

町外研修は、年に1回の貴重な体験の機会です。  
皆さんそろって、町外に出かけて、見聞を広め学習しましょう。ぜひご参加ください。

**日時** 9月21日(金) 午前7時50分～午後5時52分  
**行き先** 岡山県倉敷市 美観地区  
①大原美術館 ②昼食(美観地区内) ③美観地区見学  
**対象者** おしどり学園受講生  
※学園生以外の方は、おしどり学園(毎週第3金曜日開催)への受講を申し込むことで参加いただけます。  
**参加費** 3,500円  
**申込み** 9月7日(金)までに町公民館へお申し込みください。  
**問合せ** 町公民館(電話74-0212)



## 第19回公民館まつり ～参加団体・個人を募集します～

生涯学習の成果を発表する作品展示、体験教室、まちの特産品の即売など、生涯学習の拠点である町公民館で、今年も公民館まつりを開催します。現在、公民館まつりに参加いただける団体・個人を募集しています。ふるってご参加ください。

**日時** 10月26日(金)～28日(日)

午前9時～午後3時※28日は午後4時まで

**場所** 町公民館 参加/無料 申込期限/8月3日(金)  
申込みおよび問い合わせ/町公民館(電話74-0212)

# 地域の子どもは地域で見守り育てよう

## ～「夏休みの生活について」日野町青少年育成会からのお願い～

いよいよ、子どもたちが待ちに待った楽しい夏休みが始まります。長期にわたる休みは心が緩みやすく、問題行動や交通事故、水難事故が起こりやすい時期でもあります。

子どもたちを安全に健やかに育てるため、地域の皆さん自らあいさつをしたり、手本になる行動を示したりして、どの子も我が子と同じように接し、地域で見守り育てましょう！

### ■『凡事徹底』

「あいさつをする」「返事をする」「履き物をそろえる」…どこでも当たり前のことを徹底しましょう。

### ■『家庭で育む「生きる力」』

家族のきずなを深めましょう…温かい言葉で心が元気！

早寝・早起き・朝ごはん…規則正しい生活で体が元気！

### ■『いつでも、どこでも地域の子どもに目を』

- ・「褒める」と「叱る」を上手に使いましょう
- ・地域の子どもは地域で育てましょう
- ・ルール違反に見て見ぬ振りをせず、迷わず注意をしてください

### ■町内の学校の夏休み期間

小中学校 7月21日(土)～8月27日(月) / 日野高校 7月21日(土)～8月22日(水)

### ■毎月第3日曜日は「家庭の日」

温かい雰囲気の中で、家族の対話を図りましょう。

## 「家庭の日」作品を募集します。

～家族の思い出、うれしかったこと、楽しかったことを表現しましょう～

日野町青少年育成会では、次のとおり「家庭の日」作品を募集します。ふるってご応募ください。

〈テーマ〉 家族 〈募集作品〉 絵画・作文・写真  
〈部門〉 各作品それぞれ

小学生低学年の部(小学1・2年生)  
小学生中学年の部(小学3・4年生)  
小学生高学年の部(小学5・6年生)  
中学生の部/高校生の部/幼児の部/一般の部  
8月27日(月)～9月11日(火)

〈応募先〉 ①学校単位で応募する場合:学校へ提出してください。  
②個人で応募する場合:町公民館または町教育委員会事務局へ提出してください。

〈問合せ先〉 町青少年育成会事務局(町公民館内) 電話74・0212



## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第60回

どいっつ「おうみ?」

～地名が語る 日野の歴史⑧～

日野町中菅、近江川に沿って近江集落があります。

と。「麻績(おみ、おうみ)」という地名や苗字も県外にはあるようです。とはいえ、中菅の近江の由来についての詳しい文献は見当たりません。

江国「ですね。もともと「おうみ」は「あはつみ(淡海)」、つまり「琵琶湖」のことで、「都に近い淡海のある国」ということから近江の字があてられたというのが定説です。

と、「ここで「もしかしたら、滋賀の近江も麻に関係ある?」と調べてみると、琵琶湖東部は古くから麻織物の産地であることが分かりました。さらに、滋賀県にも、近江日野商人の里として名高い「日野町」という自治体があり…。「近江」をめぐる謎は

でも、どいつして日野に近江? 地元の方に聞いてみると、「麻績むから『麻績み↓近江』になった」という説が…

「麻績む」は、麻から繊維を取って縫い合わせること

協力:日野町歴史民俗資料館友の会